

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁
令和 8 年 8 月 12 日
14 時 28 分 39 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02381 予算編成事務

電話番号 0566-71-2275

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	002	効率的な行財政運営			
事務事業	019	予算編成事務			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	地方自治法第 2 1 1 条ほか				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	・ 予算編成方針に基づき、各課から要求される当初予算及び補正予算を審査し、編成を行います。 ・ 予算編成に役立つ情報を官公庁の報道発表資料から収集するほか、各課が実施するスクラップアンドビルドの結果を予算に反映します。 ・ また、当初予算編成後の各財政指標や対前年増減理由などの分析を行っています。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	22,948	24,684	24,747
事業費	2,714	2,711	2,774
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,714	2,711	2,774
人件費計	20,234	21,973	21,973
正規（人）	3.02	3.01	3.01
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	当初予算 73,690,000千円 財政調整基金残高 9,297,399千円 市債残高 13,287,824千円	当初予算 83,360,000千円 財政調整基金残高 9,297,128千円 市債残高 12,604,295千円	当初予算 85,780,000千円 財政調整基金残高・編 成時見込 7,409,949千円 市債残高・編成時見込 13,188,571千円

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02381 予算編成事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	法律等により実施が義務付けられています。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	市民ニーズを踏まえながら編成を行っています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	健全財政を堅持しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	過度に市債に依存することなく、適正な予算を組んでいます。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	引き続き、将来世代に負担を残さないよう、持続可能で安定的な財政運営に努めていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02382 決算調製事務

電話番号 0566-71-2275

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	002	効率的な行財政運営			
事務事業	020	決算調製事務			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	地方自治法第233条				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	・ 調製された決算書類を会計管理者から受け、内容を確認した上で監査委員に審査依頼を行います。 ・ 決算を議会の認定に付するための必要資料として、「主要施策の行政報告書」を作成します。 ・ 決算内容を分析し、決算統計調査表を作成し、愛知県を通じて総務省に報告します。 ・ 公会計制度にそった、財産台帳の整備や財務4表を作成し公表しています。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	20,308	22,062	22,907
事業費	1,883	1,987	2,759
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,883	1,987	2,759
人件費計	18,425	20,075	20,148
正規（人）	2.75	2.75	2.76
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	一般会計決算額	一般会計決算額	一般会計決算額
	歳入 85,102百万円	歳入 88,409百万円	歳入 百万円
	歳出 79,762百万円	歳出 82,940百万円	歳出 百万円
	財政力指数	財政力指数	財政力指数
	（1.27：3か年平均）	（1.29：3か年平均）	（：3か年平均）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 8年 8月12日
14時28分39秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02382 決算調製事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	地方自治法に基づく市の担当事務です。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	地方自治法に基づき市民に公表する必要があります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	算定の基礎となる調査を財政課で一元化して実施しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	適正に事務を実施しています。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	引き続き持続可能で安定的な財政運営を維持し、次年度以降における予算編成や予算執行についての指針とするため、決算調製事務を継続します。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02383 交付税算定事務

電話番号 0566-71-2275

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	001	1 7 行財政運営 その他			
事務事業	023	交付税算定事務			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	地方交付税法				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	・ 地方交付税算定のための基礎となる数値などの基礎調査を行い、県を通じて総務省に報告します。 ・ 特別地方交付税の交付対象数値の調査報告と要望事業の調査票をまとめ、県を通じて総務省に報告します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	3,484	4,088	4,015
事業費	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	0
人件費計	3,484	4,088	4,015
正規（人）	0.52	0.56	0.55
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	基準財政収入額 基準財政需要額 標準財政規模 財政力指数 (3か年平均)	基準財政収入額 基準財政需要額 標準財政規模 財政力指数 (3か年平均)	基準財政収入額 基準財政需要額 標準財政規模 財政力指数 (3か年平均)

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 8 年 8 月 12 日
14 時 28 分 39 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02383 交付税算定事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由					
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由					
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由					
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由					
適正に事務を実施しています。						

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	交付税算定事務は国の制度によるものであり、継続して実施する必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

7 頁
令和 8年 8月12日
14時28分39秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02386 財政状況公開事務

電話番号 0566-71-2275

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	001	1 7 行財政運営 その他			
事務事業	024	財政状況公開事務			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	地方自治法第 2 4 3 条の 3、財政状況の公表に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	・財政の状況（予算の執行や決算等）をまとめ、年2回、広報あんじょうや市ウェブサイト上にわかりやすく公表しています。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	804	876	1,022
事業費	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	0
人件費計	804	876	1,022
正規（人）	0.12	0.12	0.14
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	【実施】 広報あんじょう掲載 6月1日号 12月1日号 （当初予算の概要は4月1日号）	【実施】 ・市ウェブサイト掲載、公示 6月、12月 （当初予算の概要は、4月1日号広報あんじょう、市ウェブサイト掲載）	【計画】 ・市ウェブサイト掲載、公示 6月、12月 （当初予算の概要は、4月1日号広報あんじょう、市ウェブサイト掲載）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02386 財政状況公開事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法律等により実施が義務付けられています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民への説明責任を果たすために必要な事務です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	電子化や分かりやすい公表に努めています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正に事務を実施しています。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	市民にとって、より分かりやすい公表となるよう努めていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

9 頁
令和 8 年 8 月 12 日
14 時 28 分 39 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02387 起債事務 電話番号 0566-71-2275

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	001	1 7 行財政運営 その他			
事務事業	025	起債事務			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	地方自治法第 2 3 0 条				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	・ 公共事業の財源として、世代間の公平性の観点などから、適債事業について借り入れを行います。 ・ 地方債の残高や借り入れする事業の手続き及び各調査回答などを行います。 ・ 起債を借り入れする際、市内の金融機関に対して、借入れする金利について、競争入札の手続きを行います。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 決算額	令和 8 年度 予算額
トータルコスト		3,376	3,385	3,197
事業費	事業費	26	27	58
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	26	27	58
	人件費計	3,350	3,358	3,139
	正規（人）	0.50	0.46	0.43
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	【実施】 一般会計 （繰越分含む） ・ R7.5 月下旬借入 ・ 借入額 1,470 百万円	【実施】 一般会計 （繰越分含む） ・ R8.5 月下旬借入 ・ 借入額 2,044 百万円	【計画】 一般会計 ・ R9.5 月下旬借入予定 ・ 借入額 2,903 百万円 （当初予算計上額）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02387 起債事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
2	理由	市の内部事務です。	1
		必要性	
		市民ニーズの有無	
		1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
3	理由	起債は世代間の負担の公平性の観点からも必要です。	1
		有効性	
		目標に対する進捗状況	
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
4	理由	事業の効率化・事業費の削減	1
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
5	理由	財務会計と起債管理を同一システムに一元化しています。	1
		公平性	
		事業規模・サービス水準	
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
	理由	実質公債費比率等の各指標を見ても借入状況は問題ありません。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	世代間の負担の公平性の観点などを踏まえ、引き続き適債事業について借入を行っていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001102010 財政課予算係

事務事業 02388 公債費償還事務（元金・利子）

電話番号 0566-71-2275

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	001	1 7 行財政運営 その他			
事務事業	026	公債費償還事務（元金・利子）			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 公債費償還元金事務 ・ 公債費償還利子事務				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	・ 当初予算編成時において、一般会計分として借入をしている償還（元金・利子）金額を予算計上します。 ・ 年 2 回（ 9 月・ 3 月）借入先への償還を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		2,907,729	2,776,786	2,699,383
事業費	事業費	2,907,461	2,776,494	2,699,091
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,907,461	2,776,494	2,699,091
	人件費計	268	292	292
	正規（人）	0.04	0.04	0.04
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	【実施】 一般会計 ・ 年2回償還 ・ 元金償還額 2,863,226千円 ・ 利子償還額 44,235千円	【実施】 一般会計 ・ 年2回償還 ・ 元金償還額 2,727,529千円 ・ 利子償還額 48,965千円	【計画】 一般会計 ・ 年2回償還 ・ 元金償還見込額 2,578,723千円 ・ 利子償還見込額 120,368千円

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

12 頁
令和 8 年 8 月 12 日
14 時 28 分 39 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02388 公債費償還事務（元金・利子）

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市の内部事務です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	起債は世代間の負担の公平性の観点からも必要です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	財務会計と起債管理を同一システムに一元化しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	実質公債費比率等の各指標を見ても借入状況は問題ありません。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	適債事業の借入に伴う償還事務を継続して実施していきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001102010 財政課予算係

事務事業 02389 予備費管理事務

電話番号 0566-71-2275

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	001	1 7 行財政運営 その他			
事務事業	027	予備費管理事務			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	地方自治地方 2 1 7 条				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	・当初予算及び補正予算で計上されていない事業で、緊急的に支出することが必要な場合の予算（予備費）の執行管理を行っています。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		134	219	50,219
事業費	事業費	0	0	50,000
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	50,000
	人件費計	134	219	219
	正規（人）	0.02	0.03	0.03
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	当初予算 50,000千円	当初予算 50,000千円	当初予算 50,000千円
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02389 予備費管理事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法に基づく予備費は、予算の適正な執行管理を行う上で必要です。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	緊急事態時に、行政執行に支障を生じさせないためにも必要です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	予算の執行管理を財政課で一元的に行っています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	予算額に占める予備費の割合は近隣市と同水準であり適正です。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	行政執行に支障を生じさせないため、予備費の適正な執行管理に努めます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02390 水道事業

電話番号 0566-71-2275

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	003	1 4 防災・減災			
施策の取組	004	上下水道の防災・減災			
事務事業	001	水道事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	地方公営企業繰出基準（総務副大臣通知）				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	・水道事業が行う（地震防災整備関連及び土地区画整理事業）への一般会計としての出資金の支出や水道企業会計への繰出基準等に基づく職員の児童手当負担金の支出などを行っています。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	24,765	172,574	367,951
事業費	24,564	172,355	367,659
国庫支出金	0	0	157,000
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	120,000
一般財源	24,564	172,355	90,659
人件費計	201	219	292
正規（人）	0.03	0.03	0.04
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	決算 24,564千円 ・負担金 5,040千円 ・出資金 19,524千円	決算 172,355千円 ・負担金 155,582千円 （水道基本料金無償化 事業負担分を含む） ・出資金 16,773千円	当初予算 367,659千円 ・負担金 162,464千円 （水道基本料金無償化 事業負担分を含む） ・出資金 205,195千円

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102010 財政課予算係
事務事業 02390 水道事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由		国の繰出基準に基づき、市が実施すべき事業です。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由		水道事業の資本費負担軽減等を図るために必要な事業です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由		財政課で確認の上、速やかに支出事務を行っています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由		国の繰出基準等に基づき、適正に実施しています。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	国の繰出基準等を踏まえ、適正に事務を行っています。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。